



協育

活気に満ち、笑顔が輝く学校

東根市立第三中学校

学校だより

令和5年度 第8号
(令和5年11月17日)

令和の日本型学校教育と「学問のすゝめ」

～なぜ、福沢諭吉は日本の最高額紙幣の人物なのか～ 校長 竹内 斉

10月17日(火)に、今年度2回目の校長講話を実施いたしました。この講話では、日本の最高額紙幣＝日本銀行券の10,000円紙幣の肖像の人物となっている福沢諭吉についてのお話をしました。令和6年の上半期(もうすぐですね)に、渋沢栄一を肖像とする新デザインの紙幣に切り替わりますが、諭吉は、昭和59年に聖徳太子からバトンタッチし、約40年に渡り日本の最高額紙幣の顔として親しまれてきました。それでは、なぜ諭吉なのでしょう。



諭吉には、小6年の社会でも学ぶ「学問のすゝめ」という著書があります。この書物は、当時累計300万部売れ、その時代の人口が3000万人であったことからすると、国民の10人に1人が手にした大ベストセラーでした。中心となる思想は、「天は人の上には人をつくらず～」からの言葉で、明治維新で四民平等となった日本には身分の違い(差別)はなくなり、違いはただ【学問】をするかどうかであるというものでした。中には、脱亜入欧的な視点も含まれ、様々な批判もありますが、明治の日本人は、学問が自分の未来を切り開くという考えを素直に受け入れ、一人一人の努力によって日本の国力を大きく発展させることとなりました。国土も大きくない、そして資源も豊富でない日本が、明治終盤には欧米列強の仲間入りをし、戦後は長く世界第2位の経済力(GDP)を持つに至った背景には、疑うことなく諭吉の思想がベースにありました。(2010年には、中国に抜かれ3位となり、今年はずいぶんドイツに抜かれ4位になるという試算もあります。紙幣が変わる年に象徴的なことかもしれませんね。)そして、日本の最大の資源は、一人一人の国民の頭脳であることに気づかせてくれる書物でした。「学問のすゝめ」は、まさに近代から現代の日本の発展を支えた思想と言える……。そんな評価が最高額紙幣の顔に選ばれた理由なのだと思います。



さて、令和に生きる私たちに大切なことはどんなことでしょうか。現代は知識基盤社会と言われ、ICTやAIを有効に使いこなすためには多様な知識が必須です。また、個人としても、自分の夢を叶え、なりたい職業につき、収入を得て自立するため、資格を取得するためには、義務教育段階の学力がその土台となります。現段階で、「勉強」が必ずしも得意でなくてもいいですし、全教科が好き! 完璧!! である必要はありません。しかし、自分で学び、考える習慣が未来をつくることは間違いありません。高等学校等の上級学校はもちろん「学びの場」です。義務教育ではありませんが、将来の自己実現のためには、進学し、卒業資格を得ることはプラスになります。やはり、私は、未来の予測が難しく、令和の日本型学校教育の実現が求められる現代でも、明治の「学問のすゝめ」は生きていて考えています。

生徒の皆さんとともに、学ぶことについてじっくりと考えを深める機会となりました。

地区新人総体で男子バスケットボール部が準優勝、北ブロック大会に進出

9月23日、24日に実施された北村山地区新人総体で、男子バスケットボール部は、優勝した大富中には30-46で敗れたものの、楯岡中からは60-48、東根一中からは58-56で勝利し、見事地区第2位となりました。また、10月14日に地区の代表として出場した北ブロック大会(会場は鶴岡市の藤島体育館)では、鶴岡・田川地区の優勝校である鶴岡三中に34-63で敗れたものの、試合後半は互角の戦いぶり(3・4ピリオドの得点は22-23)でした。



本校のバスケ部の新人チームは5人と大会出場ギリギリの人数で、交代選手もいない状況での大会参加でしたが、大人数の部員のチームを次々と破る素晴らしい戦いぶりでした。



—北ブロック大会での様子—

本校の部活動は、野球部も女子バレー部も卓球部も部員数が多くない状況です。また、サッカー部とソフトボール部は合同チームとしての出場となっています。各部とも部員数に悩んでいる状況の中でのバスケ部の勝利は、三中全体に弾みをつけるものとなります。また、バスケ部は、普段の部活動では技術的な指導をするコーチが不在で、顧問が活動を見守るという状況ですが、活動中の様子は生徒同士が声を掛け合い、練習の強度を落とすことなく練習を積み上げることができています。この姿は、今年様々な競技で勝利へのキーポイントと言われてきた「選手の主体性」が前面に出ていました。まさに、令和のスタイルで活動できるチームの勝利に感動させていただきました。

村山地区中高教員相互派遣研修が本校を会場に開催

11月6日(月)に、村山地区の20名の高校と中学校の英語の教員が来校し、本校の3年生の授業参観していただきました。3年生全員がGIGA端末を使いこなし、英語で堂々と表現する姿や、自ら意欲的に学ぶ姿に、参観した先生方からはたくさんのお褒めの言葉を頂戴しました。三中生の良い学びの姿を広く発信することができました。



～しこたん文化祭(10月28日土曜日実施)のスナップ～



☆地域の皆様へ 資源回収の終了についての御礼

東根市立第三中学校では、PTAの取り組みとして、令和元年まで地域の皆様に資源回収のお願いをしてきました。生徒の活動を支える貴重な基金として多くの皆様にご協力いただき、心より感謝申し上げます。資源回収につきましては、コロナ禍以前よりPTAとしての活動が終了することが決まっておりましたが、周知があいまいとなってしまったこと、お詫びいたします。

なお、現在は、校舎南側の生徒の自転車小屋の間に、アルミ缶の回収コーナーを常設させていただいており、こちらにも地域の皆様から貴重な空き缶資源(アルミ専用)の回収にご協力をいただいております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



【アルミ缶回収コーナー】

～12月の主な行事日程～

※1月9日(火)3学期始業式 書き初め

日(曜)	主な予定	日(曜)	主な予定
5(火)	学校集金日	19(火)	三者面談③(通知表配付)
6(水)	EPデー	20(水)	三者面談④(通知表配付) 学校保健委員会
11(月)	進路激励会 職員会議	21(木)	三者面談⑤(通知表配付)
13(水)	専門委員会 自己生活アンケート	22(金)	2学期終業式 職員会議
15(金)	三者面談①(通知表配付)	23(土)	年末年始休業(～1/8)
18(月)	三者面談②(通知表配付)	29(金)	教職員不在日(～1/3)